

アカデミックリーダーズ セミナー

全6回シリーズ

要申込・参加無料

募集人数 各回50名

新たに就任した理事長、学長、副学長、学部長による6回シリーズの特別講座です。文理の垣根を超え、様々な角度から楽しく考察します。

2026年

開催日時

6月▶8月

14:00~15:30

会場

公立小松大学
中央第2キャンパス

石川県小松市日の出町一丁目100番地 ウレシヤス小松4階
※お車で越しの際は、周辺の市営駐車場をご利用ください。



第1回 6月27日(土)

講演テーマ

食で紡ぐ国際交流の物語 —「和食」を軸に—

講師

公立大学法人公立小松大学 理事長

小松 親次郎 Shinjiro Komatsu

●講演要旨

近年、和食や伝統的の酒造りがユネスコの無形文化遺産になるなど、日本の食文化への評価が高まっています。また、昨年末、加賀料理は登録無形文化財となりました。一方、現代の食卓には世界の食材やお皿が並びます。食文化を通じた国際理解の持つ意味や大切さは、今後益々深まることでしょうか。特に相互のリスペクトを高める食の交流の物語はどのように作れるのでしょうか。最近の外交活動経験の諸実例を御紹介しつつ考えたいと思います。

プロフィール

1956年西独生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。1981年文部省(現文部科学省)入省。1988年~1990年石川県庁勤務。大学振興課長、私学部長、研究振興局長、初等中等教育局長等を経て文部科学審議官。2020年駐コスタリカ特命全権大使。退官後、政策研究大学院大学特任教授等。2026年より現職。経済協力開発機構(OECD)教育研究革新センター日本代表理事、国際大学理事等を務める。



第2回 7月4日(土)

講演テーマ

アート

自分らしい生き方とは?

ホスピス・在宅ホスピスを通じて考える

講師

元公立小松大学副学長、金沢美術工芸大学名誉教授

横川 善正 Yoshimasa Yokogawa

元在宅ホスピス緩和ケア勤務

岡田 圭 Kei Okada

モデレーター

公立小松大学 学長

志村 恵 Megumi Shimura

●講演要旨

「終活」や「墓じまい」といった話題が増えてきた今日ですが、改めて「自分らしい生き方」や最期をどう生きるかがわたしたち一人ひとりの課題になっています。本対談では、イタリアのホスピスに長らく関わって来られた横川元副学長とニューヨークで在宅ホスピス緩和ケアに携わっておられた岡田先生に、それぞれの経験から考える「自分らしい」人生と最期のあり方について語り合っていたかと思う。

プロフィール

横川 善正

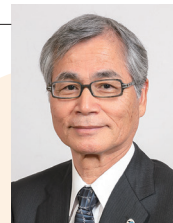
長年、芸術教育に関わってきたが、イタリアのホスピスとの出会いによって、人生でもっとも困難なときに必要なアート、これを支えるアーティストについて考えるようになった。近著に『ターミナルアートケアの時代と「お仕舞い」のデザイン』(田畑書店)

岡田 圭

ニューヨーク生まれ、金沢育ち。大学卒業後、1982年に渡米、ニューヨークの美大を卒業後、ポストモダンのダンス劇制作に4年間関わる。28年余り病院や施設で臨床スピリチュアルケアに携わる。在宅ホスピス緩和ケアで15年半勤務。近著に「いのちに驚く対話 死に直面する人と、私たちは何を語り合えるのか」(医学書院)

志村 恵

1957年、高知県に生まれる。名古屋大学とドイツ・ミュンヘン大学に学ぶ。2024年4月から公立小松大学に勤務。専門は、ドイツ学、キリスト教学、多胎家庭支援研究。現在は、外国をルーツに持つ市民によるピア・サポート活動や多胎家庭のピア・サポートの実践的研究をしている。



アカデミックリーダーズ セミナー

理事長・学長・副学長・学長補佐による6回シリーズの特別講座です。
文理の垣根を超え、様々な角度から楽しく考察します。



第3回 7月18日(土)

講演テーマ

「食」と旅・地方都市と「食」



講師 | 公立小松大学 国際文化交流学部長
中子 富貴子 Fukiko Nakako

●講演要旨

観光客の誘致は外国人観光客(インバウンド)にもアピールする時代になりました。外国人観光客にとっては日本の「食」は大きな誘引になっています。また地方ではその地域ならではの「食」が観光客を引きつけます。観光にとって不可欠な「食べる」ことと、地域の食を支えることについて考えてみたいと思います。

プロフィール

2013年大阪府立大学大学院 創造都市研究科 博士後期課程 修了、2015年神戸山手大学 現代社会学部 観光文化学科 准教授、2018年公立小松大学 国際文化交流学部 国際文化交流学科 准教授、2022年 公立小松大学 国際文化交流学部 国際文化交流学科 教授、2026年 公立小松大学 国際文化交流学部長。

第4回 7月25日(土)

講演テーマ

南加賀地域における AI活用の挑戦



講師 | 公立小松大学 生産システム科学部長
上田 芳弘 Yoshihiro Ueda

●講演要旨

スマートファクトリーやスマートホームといった次世代のシステム構築が急速に進展しています。そのベースにはクラウドやIoT、AIなどのいわゆるデジタル技術を駆使したシステム開発があり、大きな社会変革へと繋がろうとしています。急激に発展するAI技術へ恐怖心を持つ人も多くなっていますが、あらゆるシステムは人の為になることを目的に構築されるべきとして南加賀地域の皆様と一緒に挑戦を続けている事例を紹介します。

プロフィール

石川県金沢市生まれ。慶應義塾大学工学部で学び、石川県工業試験場に勤務。石川県内のもづくり企業やIT企業の皆様と一緒に研究開発、生産性の向上などに取り組み、技術の奥深さや常に挑戦し続けるマインドの大切さを痛感。当大学ではデータ科学を中心に担当し、南加賀地域の幅広い産業でのAIやIoTの活用に貢献することを希望。

第5回 8月1日(土)

講演テーマ

生涯スポーツのすすめ！ あなたのスポーツライフを 見直しましょう



講師 | 公立小松大学 副学長(教育担当)
佐川 哲也 Tetsuya Sagawa

●講演要旨

生涯スポーツとは、誰もがいつでも、どこでも、いつまでも、関心や目的、体力に応じて運動やスポーツに親しむことであり、誰もが自由にスポーツをプレイしたり、観戦したり、応援したりすることです。適度な運動・スポーツは、私たちが健康に導く優れた活動です。スポーツの効果をよく理解して、スポーツに親しむ生活習慣を作りましょう。

プロフィール

1961年愛媛県生まれ。愛媛大学と筑波大学大学院でスポーツ社会学を学ぶ。2026年より当大学に勤務。大学院時代にタイ国東北部で子どもの遊び研究を開始し、現在もミャンマー、スリランカなどにおいて子どもを対象とした健康調査を継続して実施している。

第6回 8月8日(土)

講演テーマ

排便は発見が たくさんあります



講師 | 公立小松大学 保健医療学部長
徳田 真由美 Mayumi Tokuda

●講演要旨

排便、うんこは、自分のことであっても知らないことが多いです。便秘だと思っていても便が出ていたり、性状が調整できなかったりすることがあります。排便について知ることは、できることが増え、便を気持ちよく出すことにつながります。排便とはどのようなものか、便の観察方法、便による食事や生活、便の出し方、困り事(便秘や下痢、便失禁など)への対処方法などを紹介し、一緒に考えたいと思います。

プロフィール

専門は在宅看護学。千葉大学大学院博士後期課程にて博士(看護学)取得。看護師、保健師、看護学科教員を経て現職。在宅療養をする人と家族への支援に関する研究、排便ケアに関する研究などを行い、その人らしく生きることを支えることを重視している。日本うんこ文化学会理事、小松市コンチネンスケア検討委員会委員。

申込について

QRコードからWEBフォームより
申込ください。



申込締切 **6月下旬**

お問い合わせ先

公立大学法人 公立小松大学 総務課(中央第2キャンパス)
〒923-0868 石川県小松市日の出町一丁目100番地 ウレシヤス小松4階
TEL: 0761-23-6600 FAX: 0761-48-3247
Email: soumu@komatsu-u.ac.jp